

令和3年度 佐久南幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

- ・明るく元気なあいさつをしよう ・誰とでも仲良くたくさん遊ぼう
- ・丈夫な体をつくり、心身ともにたくましくなろう

2. 本年度の重点目標（子どもの行動目標）

- (1) 基本的な生活習慣を身につける
- (2) 異年齢交流活動
- (3) 体力・健康づくり活動

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	1 園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	2 教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	3 日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	B
安全管理	4 事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	5 園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	6 園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	7 法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	8 日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	C
教育目標・園評価	9 幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	10 保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	11 本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	12 園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	13 園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	14 PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	15 地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	16 保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	17 子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 学校関係者評価委員（モニター）からの評価

- 様々なことで制限を余儀なくされる中、子どもたちが充実した幼稚園生活を送れるよう配慮していることがわかる。
- 保護者のニーズは環境やネームバリューだけでなく、教育の質の高さへ変わってきている。多面的に情報発信していく必要があるのでは。
- 職員の資質向上を計りながらも、この職業を長く続けてもらえるような勤務改善も考えていくべきでは。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- 子どもたちの主体性を大切にしながら、保護者の皆様のご理解ご協力の下、形を変え、内容を工夫し、「今できること」を実践してきた。今まで当たり前のように行ってきたものについても見直してみる良いきっかけとなった。子どもたちが、自ら考え取り組みやすい環境を作れるよう、引き続き職員研修を進めていきたい。
- 子ども・子育て支援新制度への移行にともない、現在よりさらに手厚く子ども1人ひとりに関わる職員体制にしていきたいです。